

## 研究計画書

|        |  |      |                           |
|--------|--|------|---------------------------|
| ゼミ名    | 森ゼミⅡ   | チーム名 | 食べ過ぎていいんかい<br>(ただしヘルシーにね) |
| タイトル   | 医療経済   |      |                           |
| テーマ群   | e)産業・企業  |      |                           |
| メンバー   | 飯田理沙 大畑史果 小島凌 横山真伍<br>藤本奈央 尾崎愛佑香 中田翔悟 笠井悠一   |      |                           |
| 研究計画内容 | <p>我々学生が好んで食べる肉料理。しかし肉中心の食生活はガンや糖尿病になる最大の要因であったのです。遺伝、喫煙と病気かかる要因は様々ですが、食事によるガンや糖尿病への影響力が高いのです。第二次世界大戦まで非常に稀な病気であったガンが、今では日本の3大死因の一つになってしまいました。これは肉中心の食生活へと変化し、動物性食品の過剰摂取がガンや糖尿病の強力な要因になったと考えられます。</p> <p>ではまず、どのようにしてガンが作られていくのでしょうか。我々人間の体内には常にガン細胞が存在しており、促進されるか抑制されるかは食べ物に関わってきます。ガン細胞の増殖を防ぐために、その働きを抑制する食べ物を積極的に摂取することが重要です。大豆、玄米、野菜やフルーツがこの抑制に効果がありますが、こういった食材を手軽に摂取できるよう、美味しくヘルシーに健康的な食事がとれると有名な「タニタ食堂」のメニューを例に挙げ考えていきます。</p> <p>では健康的な食事は市場においてどのくらいの価値があるのでしょうか。今回は潜在的な需要を測るのに適した仮想評価法(CVM)を用いて調査を行います。男女による健康への意識は違うのか。将来病気になるかもしれないというリスクを知ってまで、我々は肉食を好むのか。健康的な食事の価値はどのくらいあるのかを数値化し解き明かしていきます。</p> <p>本研究において私たちは食生活が原因でガンや糖尿病が発症する経緯について調べ、食習慣の改善について提案します。どのような食事がガンや糖尿病を予防できるのか。我々学生の健康に対する意識を調査し、健康的な食事の市場価値を検証していきます。</p> <p>本研究により、学生の間から健康的な食生活を取ることの重要性について考える機会の一因になれば幸いです。</p> |      |                           |